
music love

春

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

music love

【コード】

N08110

【作者名】

春

【あらすじ】

何故かテレビ局の前に佇む少女

その子に話しかける超有名バンドのボーカル海・・・

突然の出会いから始まる恋の行方は・・・!?

気付いたら、私はテレビ局の前に居た。

なんでこんなところ来ちゃったんだろう？

どうやってきたのかな？

何もわからない・・・てか覚えてない？

「ねえ、その君？こんなとこで何してんの？」

急に後ろから声がした。

「え？」

振り返ってみると、そこにはかの有名なヴィジュアル系バンドのボ
ーカル、海がいた。

「え？じゃないでしょ。てか、俺のこと知ってたりする？」

そりゃもちろん・・・知ってるに決まってるでしょうが！

「えっと・・・ナンシルのか・・・い？」

あまりに唐突過ぎて疑問形になってしまった。

「おー、知ってるんだ。んでそろそろ俺の質問に答えてくれる？」

「あ。えっと、信じてもらえないかもなんですけど、なんかこのテ
レビ局前に来ちゃったんです。」

ホントどうしてこんなとこ来ちゃったんだろ私・・・

「それでなんで来ちゃったか分かんなくて、家にも帰れないって状
況です。」

これから先どうしたらいいのかわかんないんだけど・・・

「へーそうだったんだ。じゃあさ、俺ん家こない？家帰れないんで
しょ？」

「いや、でも・・・あの・・・」

流石に会ったばっかで家に行くとかありえないよね？

でもどうしようかな？この辺全く知らないしもう夜だし

「俺の家氣といたほうが安全じゃない？もう夜なんだしさ」

テレビで見ただけだと全く分かんないけど、海って結構強引なん
だなあ…知らなかった

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0811o/>

music love

2010年10月10日00時54分発行